2026年　11月4日　　遠　友　だ　よ　り　　第40号

遠友だより

発　行
さっぽろえんゆうじゅく
札幌遠友塾
じしゅやかんちゅうがく
自主夜間中学

希望・未来・水俣　＜水俣から学ぶ＞
～　特別授業　胎児性水俣病患者の挑戦～



＜ 左から　加藤さん、松永さん ＞

9月30日（水）、札幌市教育文化会館にて、札幌遠友塾の特別授業が実施されました。札幌遠友塾事務局長であり、「水俣を子供たちに伝えるネットワーク」の札幌窓口を担当している中島圭子さんの紹介で、「水俣から学ぶ」と題して水俣市からお越し頂いた松永幸一郎さん（胎児性水俣病認定患者：現在は車椅子の生活）が「水俣病から宝物を伝えるプログラム」の共同トークメンバーとしての講演、そして加藤タケ子さん（きぼう・未来・水俣の会代表理事）の講演を聴くことができました。

水俣病の発生から現在に至るまでの歴史、そして今でも苦しんでいる方々のこと、裁判のことなど、今も終わっていない公害病について学ぶことが出来ました。終わりに3年クラス受講生の山上睦子さんが代表してお礼の言葉を述べてくれました。ご紹介します。

松永さん、加藤さん、今日は遠い水俣からおいでいただき、ありがとうございました。貴重なお話を聞かせていただき、資料を読むだけでは得られない重みを感じました。当時の大変なご苦労や多くの方々の闘い、努力があったことを初めて知り、70年以上経った今も後遺症に苦しみ、辛い生活を送っておられることに心が痛みます。犠牲者の皆さんへの差別や偏見をなくす為にも、公害の真実を風化させてはいけないと実感しました・・略・・本日は本当にありがとうございました。心からお礼申し上げます。

（山上さんの言葉より）

写真展示コーナー







松永さん（右端）

加藤さん（左端）

本「宝子」紹介より

＝　賛助会費等のご寄付、本当にありがとうございます！　＝

この9月から、払込み票などに書かれておりましたメッセージをご紹介します。



○Mさん（さいたま市）「皆様、お体ご自愛なされて」

○S さん（七飯：元スタッフ）「初のボーナスをもらいました。些少ですが寄付します」

○I さん（中央区）「10月7日の見学ではお世話になりました。これからもよろしくお願いいたします」

楽しく見学、ジャガイモ美味しかった！

～　社会見学・北海道開拓の村　～



＜ 旧札幌停車場 ＞

9月23日（水：秋分の日）に40名の参加で社会見学（北海道開拓の村）が行われました。素晴らしい秋晴れに恵まれ、秋祭りのイベントもあり、ボランテイアガイドさんの熟練した説明もあり、とても楽しい時間を過ごすことが出来ました。

本などでは学べないリアルさがあり、北海道の歴史を知ることが出来ました。秋祭りのイベントでは蒸かし立てのジャガイモとカボチャの試食があり、とても美味しく頂きました。参加の方々の感想をご紹介します。



＜青山家漁家住宅内＞

○ 坂道は楽しく、大声で笑いながら歩きました。ジャガイモとカボチャ、おいしかったです。

○ 秋晴れのとても気持ちの良い日でした。開拓の状況などをガイドさんの説明もあり、とても良かったです。また丁度、神社のお祭りで「ジャガイモ、カボチャ」の試食などがあり、とてもおいしかったです。先人達の大変な努力の結果、現代につながっていることがわかります。何度か来ていますが、その都度違うことがわかりとても良かったです。



＜大石三省堂支店＞

○ 絶好の見学日和でした。久しぶりにガイドさんのお話を聞き、大変勉強になりました。帰りに受講生さんとランチし、お腹もいっぱいになり、幸せな時間でした。

○ 整備されて初めて行ったのですが、改めて歴史を感じました。なつかしさも感じました。カボチャもジャガイモもおいしかたです。